



Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-681 ワールドナースィングホーム内

Phone: 047-467-6111 Fax: 047-467-6123

チター演奏会開催



右より内藤先生と菅野、小野さん(吉田丈夫氏撮影)



参会者の皆さん(前列右より菅野さん、小野さん、内藤先生、平尾会長、臼井名誉会員、大友会員)



参会者の皆さん

平成19年9月8日(土) 14:30~17:00 47名

日本チター協会会長の内藤敏子先生(当協会理事)によるチター演奏会は、先生がご多忙の為、今年は9月8日にJR総武線津田沼駅近くの「銀座アスター津田沼賓館」にて台風9号が去って秋晴れとなった日に開催された。

今回は少し遅れて臼井日出男名誉会員が久しぶりに参加された他、内藤先生が門下生他11人を、旭市の会員、大友勝廣さんが奥さんとその友人8名を誘ってくださり、これまでに最多の47名の盛会となった。

平尾会長の挨拶の後、内藤先生は門下生の小野さん、菅野さんと共に曲の合間に解説や思い出などを織り交ぜて約1時間半にわたり演奏された。中でも先生がチターをより一層広めるきっかけとなったいきさつが印象的であった。「第二次世界大戦の前、ヨーロッパに住んでいた35名の日本人がスイスのあるホテルに集まり、今後の身の振り方を相談していたところ、それを見ていた宿の母子が励ましのチター演奏会を開いてくれた。中にいたある男性が『チターの演奏は電灯の下でなく、電気を消して聞きませんか?』と提案、窓から差し込む星の明かりで聞いたそうです。その一部始終は当時でも珍しい16ミリカラーフィルムで大変裕福な日本人が撮影し現存しています。私はその場に居合わせた一人の方から『どうぞ、チターを日本で広めてください』とお願いされ、以来、使命感をもって活動しています。なお、その方はただお一人100歳を越えて今尚ご存命です」

なお、演奏曲目は下記のとおり。

- ① エーデルワイスの咲く頃
- ② 雪山のレントラー
- ③ ウィーンはウィーン
- ④ 第三の男
- ⑤ 千の風になって
- ⑥ ポルカ
- ⑦ ヴェルト湖のほどり
- ⑧ クリスマスの喜び
- ⑨ 野バラ・蝶々・ローレイ(メドレー)
- ⑩ 心への道

終了後、臼井名誉会員の乾杯で懇親会に移り、内藤先生はチターを初めて見るという参加者の人達を集めて演奏方法を説明。最後にテーブルごとに主賓を囲んでの記念撮影をして17:00に解散。

グローバルフェスタ・Chibaに出展

残暑真っ盛りの8月26日(日)、千葉大学けやき会館において千葉県、(財)ちば国際コンベンションビューロー、(独)JICA、(財)ユニセフ協会千葉県支部が主催する「グローバルフェスタChiba」が盛大に行われました。

千葉県民の国際交流の気運を盛り上げようとする企画で今回がはじめての催しだけに主催者の意気込みも大きく、多彩な催し物が行われ、その様子はNHK、ちばテレビなどのニュース番組で詳しく放映されました。

舞台では、歌手・庄野真代さんの講演「わたし流の国際協力」、エリック・ジェイコブセンさんの「歌と英語を交えたステージ」、など国際交流に相応しいイベントが続けられた一方、1、2階のスペースでは十数団体による国際協力パネル展があり、それぞれが活動状況をPR。我々も「ドイツと千葉県」の表題のもと、当協会の活動、千葉県とデュッセルドルフ市の交流を始め、県内におけるドイツとの関わりを一昨年の「ドイツに親しむ3日間」同様、写真で紹介しました。

5月中旬以降、平尾会長のもと、国枝副会長、橋口、坂本常任理事、そして今や会場設営には不可欠となった館野さん(我々は彼をマイスターと呼ぶ)が実働部隊となり、準備を進め当日に臨みました。狭いブースも、幸いホール入り口近くの絶好の場所でしたので、たくさんの来場者に活動状況を見てもらうことができました。フェスタは、閉会セレモニーでタレント・松村邦洋さんの友情出演、「手話ダンスよっかいどう」のみなさんと一緒に「まあいいのち」を歌いながら盛会裏に幕を閉じました。

最後に、当協会のブースをマーレンの作品で飾っていただいた道野さんに心から謝意を表します。

(常任理事 小野浩)



チャター演奏会の参加者のみなさん

～今後の主な催物案内～

☆講演会のお知らせ(詳細は、同封のチラシ参照)

日時:10月15日(月)17:00～19:00

会場:(財)ちば国際コンベンションビューロー
(JR京葉線海浜幕張駅下車 徒歩3分)

講演者:ミハエル・ロートドイツ連邦議会議員
ドイツ社会民主党(SPD)所属

演題:「EUの政治・経済の現況」

主催:千葉県日独協会

申込方法:10月10日(水)までに千葉県日独協会
事務局宛ファックスにて。(定員50名)
ファックス番号 047-467-6123

☆ドイツ軍人慰霊祭

当協会発足のきっかけとなった慰霊祭を下記の要領にて開催致しますので、是非ご参加下さい。

日時:11月18日(日)11:00より

場所:船橋市宮習志野霊園

(JR総武線津田沼駅北口よりバスで約15分、
「自衛隊前」下車。自衛隊正門に向かって左に
50mの所を左折して約7分歩くと右側に霊園入り口があります)

直会:慰霊祭の後、直会を行ないます。

会費2,000円

「デュッセルドルフの夕べ」

7月2日(月)東京のホテルニューオータニ「芙蓉の間」において一昨年、昨年に続きデュッセルドルフ市、NRW州並びにNRWインヴェスト共催の「デュッセルドルフの夕べ」が開催され、かつて同市に駐在した日本企業関係者、デュッセルドルフ見本市出展者を中心に約千人が招待された。また同市のパートナーである千葉県も堂本知事以下関係者多数が招待され、千葉県日独協会も橋口常任理事ら数名の役員が参加した。この日も壇上にエルヴィン市長、デア大使、堂本知事、ドーンシャイト メッセ・デュッセルドルフ社長が並び、デュッセルドルフのシンボル アルトビールで乾杯、時間を忘れる楽しい「デュッセルドルフの夕べ」となった。また7月11日から19日までU-17サッカーチームがデュッセルドルフから来葉、県下の中学、高校チームと親善試合を行った。

訂正とお詫び

前号1ページの「自衛隊習志野空挺団見学」本文中、篠原隆一氏とあるのは、篠原隆三氏の誤りでした。ここに訂正して、お詫び致します。